

丸亀市学校施設長寿命化計画

令和2年1月

丸亀市教育委員会

目 次

I	学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
II	学校施設の目指すべき姿	4
1	学校施設機能	4
2	学校機能	6
III	学校施設の実態	7
1	学校施設の運営状況・活用状況等の実態	7
2	学校施設の老朽化状況の実態	19
3	学校施設整備の課題	29
IV	学校施設整備の基本的な方針等	44
1	学校施設の規模・配置計画等の方針	44
2	改修等の基本的な方針	45
V	改修等の整備水準の設定	47
1	改修等の整備水準	47
2	維持管理の項目・手法等	51
VI	長寿命化の実施計画	53
1	改修等の優先順位付けと実施計画	53
2	長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果	57
VII	長寿命化の継続的運用方針	58
1	情報基盤の整備と活用	58
2	推進体制等の整備	59
3	フォローアップ	60
参考	計画の策定体制	61

I 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 背景

丸亀市（以下「本市」という。）の総人口は平成 17 年 3 月に旧丸亀市と旧綾歌町、旧飯山町の合併に伴い、平成 27 年国勢調査では 110,010 人となっている。

本市の今後の人口について、国立社会保障人口問題研究所の推計によると令和 27 年には 95,878 人となり、年少人口（0 歳～14 歳）は、15,218 人（13.8%）から 11,573 人（12.1%）に減少し、今後少子化のさらなる進行が予測されている。

一方、人口増加期の年少人口の増加によって、児童生徒数も増加してきたため、学校施設は小学校 18 校、中学校 8 校を抱えるに至ったが、現状では、小学校の 51.4%、中学校の 40.2%が築年数 40 年を超え、施設の老朽化が進行している状況となっている。

また、このような背景のもと、公共施設の増加とともに老朽化施設が同時期に蓄積することから、本市では、平成 28 年度に「丸亀市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定して、今後 40 年間の建物系公共施設の更新費用総額を算定し、年平均更新費用額を 50.6 億円と試算したところである。

学校施設については、建物系公共施設の中でも全床面積の 33.0%を占め、全更新額に占める割合が高いため、その更新額への配慮が求められている。

(2) 目的

本市の学校施設については、老朽化による建築物自体の寿命や設備の不具合等の問題を是正していく必要性和新学習指導要領に基づく多様な学習内容や形態に対応した高機能かつ多機能な施設環境の整備に加え、防災対策やバリアフリー化、子どもの生活空間の快適化や環境負荷の低減など様々な課題への対応を求められている。

学校施設の維持管理について、これまでの事後保全的な対応から予防保全的な対応へ転換し、その機能や設備を常に良好な状態に保つ長寿命化型整備によって、中長期的に改築時期を遅らせ、財政負担の軽減・平準化を図ることを目的とした「丸亀市学校施設長寿命化計画（以下「本計画」という。）」を策定する。

(3) 計画期間

本計画の計画期間は、総合管理計画の施策方向を受ける公共施設の個別計画として、学校施設については令和 2 年度から令和 11 年度までの 10 年間とする。

なお、事業の進捗や社会情勢の変化に即したものとするため、概ね 5 年ごとに、見直しをもって調整を図るものとする。

(4) 対象施設

本計画の対象施設は、小学校 18 校（内 1 校が休校）、中学校 8 校（内 2 校が休校）とする。

「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月 文部科学省）」に準じて、概ね 200 ㎡以下の単独建物は対象外とするが、用途・構造等を考慮し対象とすることも想定する。

なお、島しょ部に位置する、広島小中学校、小手島中学校は休校しており、施設としては小手島小中学校、広島小中学校（※名称を併設型の小中学校としている。）、本島小中学校（令和 2 年度併設予定）を計画対象としている。

■ 調査対象学校施設一覧

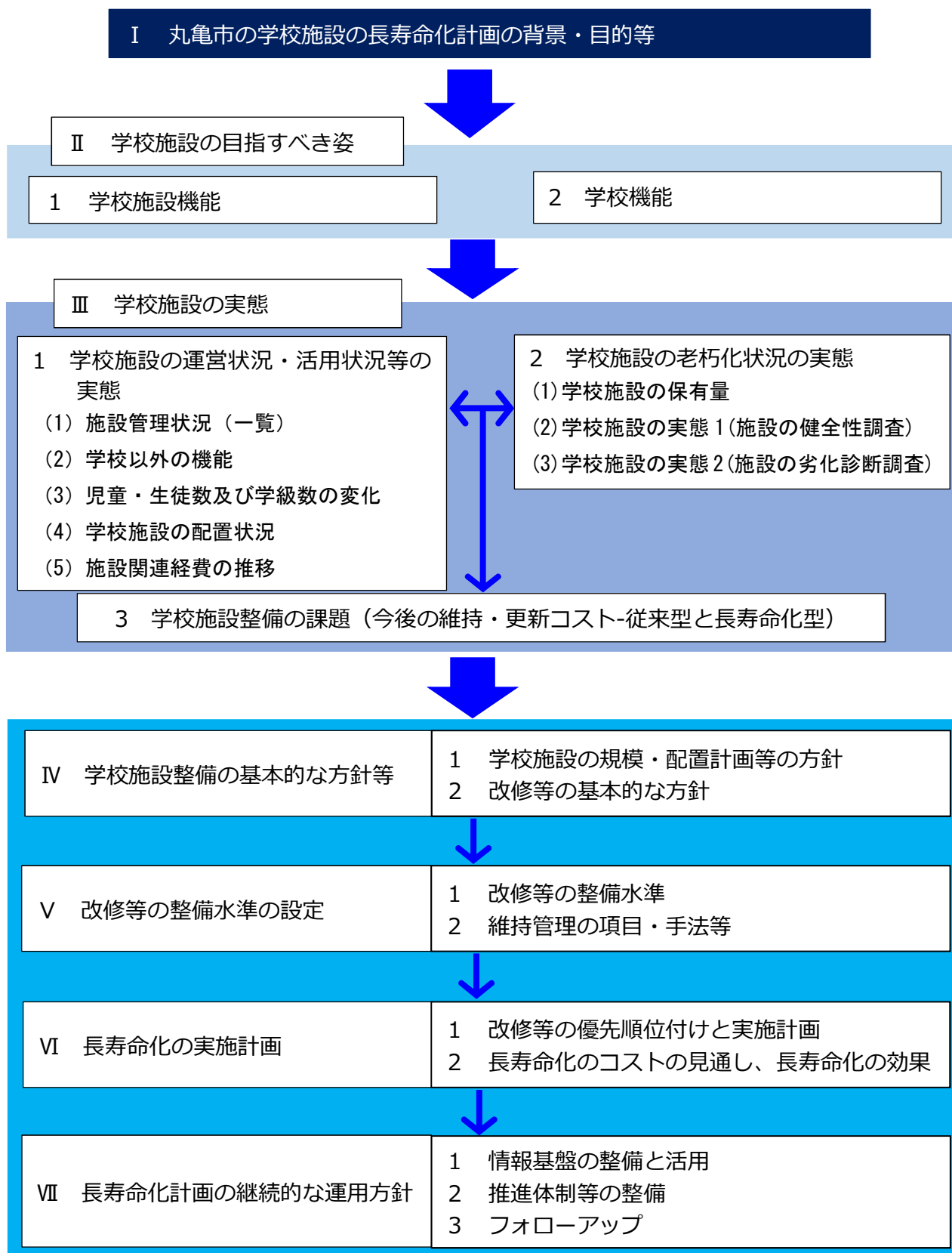
施設名	建物区分	構造	階数	延床面積	建築年度	
				m ²	西暦	
城東小学校	普通教室棟	RC	3	1,757	1971	
	特別教室棟	RC	3	1,306	1974	
	渡り廊下棟	RC	3	120	1974	
	普通教室棟・管理棟	RC	3	1,704	1974	
	廊下棟	RC	3	320	1974	
	普通教室棟	RC	3	195	1985	
	屋内運動場	RC	1	655	1973	
	プール棟	RC	1	91	1990	
城南小学校	普通教室棟	RC	3	2,106	1971	
	廊下棟	RC	3	350	1973	
	普通教室棟・特別教室棟	RC	3	1,350	1973	
	便所棟	S	3	184	2012	
	普通教室棟・特別教室棟	RC	3	737	2012	
	屋内運動場	RC	2	1,390	2011	
	プール棟	RC	1	93	2011	
	城西小学校	校舎棟	RC	4	7,682	2014
屋内運動場		RC	3	1,989	2014	
プール棟		RC	1	264	2015	
城北小学校	校舎棟	RC	4	5,768	2014	
	屋内運動場	RC	3	1,654	2014	
	プール棟	RC	1	228	2015	
城乾小学校	教室棟	RC	2	1,514	1998	
	教室棟	RC	5	4,464	1998	
	屋内運動場	RC	2	1,354	2004	
	プール棟	RC	1	101	2010	
城坤小学校	教室棟	RC	3	2,232	1968	
	管理棟・普通教室棟	RC	3	2,789	1973	
	廊下棟	RC	3	307	1973	
	教室棟	RC	2	495	1985	
	教室棟	RC	1	75	2011	
	屋内運動場	RC	2	1,285	2011	
	プール棟	RC	1	41	1984	
城辰小学校	普通教室棟	RC	3	1,037	1977	
	管理棟及び教室棟	RC	3	788	1977	
	普通教室及び特別教室棟	RC	3	1,229	1978	
	廊下棟	RC	3	356	1978	
	普通教室棟	RC	3	527	2000	
	普通教室棟	RC	3	273	2008	
	屋内運動場	RC	2	1,236	2013	
	プール棟	RC	1	132	2001	
飯野小学校	教室棟・管理棟	RC	3	1,699	1974	
	教室棟	RC	3	1,334	1975	
	管理棟	RC	1	70	2007	
	EV棟	S	3	120	2013	
	屋内運動場	RC	1	1,171	2003	
	プール棟	RC	1	89	2002	
	校舎棟	RC	3	2,018	1975	
郡家小学校	校舎棟	RC	3	1,608	1976	
	渡り廊下棟	RC	3	348	1976	
	校舎棟	RC	3	719	1980	
	校舎棟	RC	3	276	1984	
	校舎棟	RC	3	303	2006	
	屋内運動場	RC	2	1,312	2012	
	プール棟	RC	1	10	1979	
	普通教室棟・特別教室棟	RC	3	1,374	1975	
	管理棟	RC	3	589	1976	
	渡り廊下棟	RC	3	432	1976	
垂水小学校	普通教室棟	RC	3	844	1983	
	特別教室棟	RC	3	692	2007	
	屋内運動場	RC	1	546	1980	
	プール棟	RC	1	37	1983	
	本島小中学校	校舎1	RC	2	864	1978
		校舎2	RC	1	502	1978
		屋内運動場	RC	1	492	1980
		プール棟	RC	1	94	1987
広島小中学校	校舎	RC	2	1,324	1978	
	屋内運動場	RC	1	530	1977	
	プール棟	RC	1	98	1988	
小手島小中学校	校舎	RC	2	823	1977	
	屋内運動場	S	1	443	1983	
	プール棟	RC	1	86	1995	
富熊小学校	管理教室棟	RC	3	2,424	1971	
	教室棟	RC	2	914	1993	
	廊下棟	RC	2	110	1993	
	屋内運動場	RC	2	1,034	1978	
	プール棟	RC	1	112	1998	

施設名	建物区分	構造	階数	延床面積	建築年度	
				m ²	西暦	
栗熊小学校	教室棟	RC	3	1,490	1973	
	管理・特別教室棟	RC	3	1,573	1973	
	屋内運動場	RC	2	632	1968	
	プール棟	RC	1	90	2018	
岡田小学校	教室棟	RC	3	2,393	2013	
	管理・特別教室棟	RC	2	1,069	2013	
	多目的棟	RC	1	485	2013	
	屋内運動場	RC	2	1,326	1970	
	プール棟	S	1	70	1985	
	飯山北小学校	特別教室棟	RC	2	777	1968
普通教室棟		RC	2	1,633	1975	
管理棟		RC	2	1,257	1979	
普通教室棟		RC	2	1,847	1979	
渡り廊下		RC	2	124	1979	
渡り廊下		RC	2	52	1979	
普通教室棟		RC	2	692	1982	
廊下棟		RC	2	85	1982	
普通教室棟		W	2	412	1992	
屋内運動場		RC	2	1,009	1970	
プール棟		RC	1	125	1989	
飯山南小学校	教室棟	RC	2	275	1969	
	教室棟	RC	2	541	1975	
	普通教室及び特別教室棟	RC	2	1,586	1976	
	教室棟	RC	2	932	1982	
	管理棟	RC	2	748	1991	
	屋内運動場	RC	1	684	1971	
	プール棟	RC	1	99	1989	
	東中学校	教室棟	RC	3	2,639	1970
		教室棟	RC	3	2,340	1971
		管理棟	RC	3	1,125	1972
廊下棟		RC	3	1,406	1972	
教室棟		RC	3	648	1986	
特別教室棟		RC	3	1,099	2012	
武道場		RC	2	743	1991	
屋内運動場		RC	2	2,312	2012	
プール棟		RC	1	97	1990	
西中学校	教室棟	RC	4	4,553	2009	
	特別教室棟	RC	5	3,877	2009	
	校舎棟	RC	2	406	1987	
	武道場	RC	2	351	1987	
	屋内運動場	RC	3	2,822	2010	
	プール棟	RC	1	110	1994	
南中学校	特別教室及び管理棟	RC	3	4,465	1982	
	教室棟	RC	3	3,796	1982	
	廊下棟	RC	3	841	1982	
	屋内運動場	RC	2	1,938	1982	
	プール棟	RC	1	77	1982	
	綾歌中学校	教室棟・管理棟	RC	2	1,340	1963
教室棟		RC	2	2,204	1964	
特別教室棟		RC	2	748	1979	
教室棟		RC	2	505	1983	
給食棟		RC	1	73	1983	
教室棟		RC	2	200	2014	
屋内運動場		RC	2	1,850	1969	
武道場		RC	2	928	1980	
プール棟		RC	1	198	2018	
飯山中学校		教室棟	RC	3	1,394	1973
	昇降口	RC	3	235	1973	
	教室棟	RC	3	2,000	1973	
	管理棟	RC	3	752	1973	
	渡り廊下	S	2	61	1973	
	渡り廊下	RC	3	392	1973	
	教室棟	RC	3	537	1982	
	図書館	RC	2	728	1984	
	教室棟	RC	3	292	1987	
	屋内運動場	RC	2	1,760	1973	
	武道場	RC	2	866	1978	
プール棟	RC	1	151	1974		

※本島小中学校は、令和2年度併設予定

(5) 計画内容

本計画内容については、国が示す学校施設の長寿命化計画を策定するための「様式」にしたがい、整理する。



Ⅱ 学校施設の目指すべき姿

ここでは、「学校施設の目指すべき姿」について、「学校施設機能」及び「学校機能」に区分し、国の学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議が検討した「学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～」を参考にし、さらに丸亀市公共施設等総合管理計画等を踏まえて整理する。

1 学校施設機能

「学校施設機能」は、建物として必要な「安全性」、「快適性」及び地域施設としての「地域拠点性」などの機能向上に係る方向性を示している。

(1) 安全性の向上

①防災性能

- ・学校施設は、地域住民にとって最も身近な施設であり、地震等の非常災害時には応急避難場所として利用される地域の防災拠点として重要な役割を担っている。
- ・安全・安心な教育環境を確保するに当たり、学校施設の耐震対策、経年劣化による部材の落下防止対策・事故防止対策、ガス・水道・電気の設備配管等の安全対策などにより、防災性や安全性を確保する必要がある。
- ・施設においては、共用部分はもちろん、専用部分においても児童生徒、教職員だけでなく、保護者や地域住民など多様な人々が利用しやすいよう配慮したものでなければならない。

〈具体例〉

- ・非構造部材の地震対策による落下物の防止
- ・家具等の転倒防止
- ・非常時の避難経路の設定
- ・防災監視システムの導入
- ・各施設からの避難のための動線の明示

②防犯性能

- ・学校施設は、不審者侵入の予防など防犯性も備えた安心感のある施設環境を形成することが重要である。
- ・学校施設の防犯対策を強化するため、学校とコミュニティセンター、図書館など他の公共施設との複合化を図り、教職員だけでなく、他の公共施設の職員も一緒になって児童生徒を見守る体制を構築している事例がみられる。
- ・特に、外部からの来訪者を確認できるよう、敷地内や建物内、外部からの見通しを確保し、死角となる場所がないように視認性を確保する配慮が必要である。

〈具体例〉

- ・監視カメラの導入
- ・施設の出入口の周辺に受付やモニターテレビ等の設置

(2) 快適性の向上

①ユニバーサルデザイン対応

- ・学校施設は、児童生徒の学びの場としてだけでなく、地域にとっても生涯学習の場となるとともに、伝統文化や行事の継承などを通して、地域コミュニティの形成に寄与することができる。
- ・このため、施設のバリアフリー化を図り、児童生徒や教職員だけでなく、保護者や地域住民などの多様な利用者を想定してユニバーサルデザインの観点から配慮することが必要である。

〈具体例〉

エレベーターやスロープの設置

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱(平成20年3月28日バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する関係閣僚会議決定)

- ・バリアフリー:物理的な障壁のみならず、社会的、制度的、心理的なすべての障壁に対処するという考え方
- ・ユニバーサルデザイン:施設や製品等については新しいバリアが生じないよう誰にとっても利用しやすくデザインするという考え方

②省エネ等環境対応

- ・従来の学校施設は、壁、窓などの断熱化が図られていないものが多く、良好な温熱環境を確保することが困難で、照明についても、省エネルギー化が十分図られていない状況にある。
- ・今後は、エコ改修による省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用を積極的に進めることにより、良好な温熱環境を確保するとともに、エネルギー使用量や二酸化炭素排出量の削減を図ることが必要である。

〈具体例〉

ペアガラス化による校舎の断熱性の向上、LED照明器具の設置、太陽光発電の導入

(3) 地域拠点性の向上

①生涯学習等拠点

- ・学校施設は、地域住民にとって最も身近な公共施設で、まちづくりの核及び生涯学習の場としての活用を一層積極的に推進することが必要である。
- ・学校施設と社会教育施設との複合施設は、単独の学校施設の場合に比べ、地域住民の生涯学習等を通じて地域のコミュニティの活動の場となる可能性が高まるため、多様な人々が安全に利用できるよう、ユニバーサルデザインの採用などを実施している事例がある。

〈具体例〉

コミュニティの自主的活動の支援、他の公共施設との複合化、ユニバーサルデザインの採用

②地域防災拠点

- ・学校施設は、地域住民にとって最も身近な施設であり、地震等の非常災害時には応急避難場所として利用される地域の防災拠点として重要な役割を担っている。

〈具体例〉

屋外から利用できるトイレの設置、防災倉庫・備蓄倉庫の設置、貯水槽・プールの浄水装置の設置による水の確保

2 学校機能

(1) 学習環境の向上

- ・学校施設については、新学習指導要領等への対応を図るため、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に向けて、多様な学習内容・学習形態に対応した多目的スペースの導入や少人数指導のための空間づくりなど施設環境の確保を図り、今後の情報化の進展に対応するため、コンピュータ、デジタル・テレビ、電子黒板などのICT環境の整備を促進する。近年、児童生徒の学習環境の向上に資するよう、学校施設と他の公共施設との複合化などを図る地方自治体が増えつつある。
- ・学校施設と図書館との複合化を図り、児童生徒が総合的な学習において課題設定や情報収集において図書館を活用し、特色ある教育活動を実施している事例がある。
- ・学校施設と文化施設との複合化を図り、音楽ホールでの音楽発表会や和室での茶道体験をするなど特色ある教育活動を実施している事例がある。
- ・学校施設と児童福祉施設や高齢者福祉施設との複合化を図り、児童生徒が幼児への思いやりや高齢者への尊敬と感謝の気持ちを育むなど、豊かな情操と道徳心を培うという特色ある教育活動を実施している事例がある。

〈具体例〉

- ・学校施設と文化施設との複合化
- ・学校施設と児童福祉施設や高齢者福祉施設との複合化

(2) 児童・生徒等の環境機能の向上

- ・学校施設は、子どもたちの教育施設であると同時に、豊かな人間性を育むのにふさわしい生活環境施設でなければならない。
- ・このため、日照、採光、通風等に配慮することにより良好な温熱環境を確保するとともに、省エネルギー化や二酸化炭素排出量の削減のみならず、環境教育にも寄与する環境を考慮した施設とすることが重要である。

〈具体例〉

- ・日照、採光、通風の確保
- ・外壁・窓等の断熱化
- ・省エネルギー型の照明器具・空調設備の導入
- ・太陽光発電の設置

(3) 施設の効率性向上

- ・小中学校は、現施設数を基本とし、今後、児童生徒数の推移等を見ながら、施設の統廃合についても検討する。また、施設の改修計画を策定し、既存施設の長寿命化を図り、適正な維持管理を行うとともに、災害時の避難所としての機能を備えるよう努める。